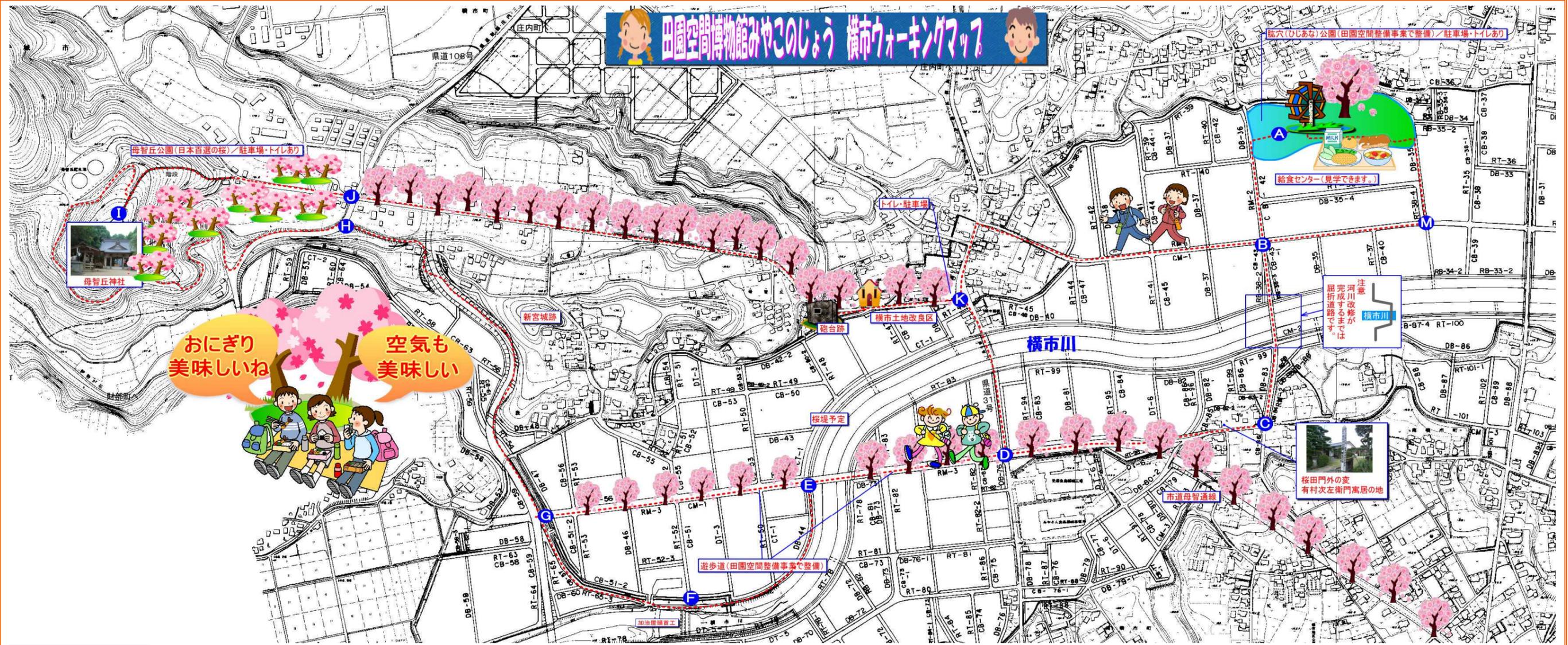


田園空間博物館みやこのじょう 横市ウォーキングマップ



おにぎり
美味しいね

空気も
美味しい



標準歩行時間(休憩含まない) ※距離はマップメーター計測のため、正確ではありませんので目安としてください。

きばれコース	
A → B	200m
B → C	500m
C → D	500m
D → E	300m
E → F	500m
F → G	300m
G → H	800m
H → I	1,200m
I → J	500m
J → K	1,200m
K → B	700m
B → M	300m
M → A	500m
計	7,500m

標準歩行時間 2時間

てげてげコース	
A → B	200m
B → K	700m
K → J	1,200m
J → I	500m
I → J	500m
J → K	1,200m
K → B	700m
B → A	300m
計	5,300m

標準歩行時間 1時間30分

参考距離	
D → K	300m
E → G	400m



トーチカ(砲台)跡

太平洋戦争の激しくなった、昭和18年(1943)本土防衛のために建設されました。昭和19年以降、都城西飛行場を陸軍航空隊が特攻基地として使用することになったため、米軍の空爆が激しくなり、機関砲で応戦していたそうです。



たのかんさあ(田の神)

終戦直後、誰かがトーチカの跡に据えられた。「たのかんさあ(田の神)」です。現在まで豊作祈念の神として鎮座され、眼下に広がる水田を見守ってこられました。

トーチカ跡に「たのかんさあ」を祀ったのは、戦争という過ちを2度と繰り返してはいけないとの住民の願いかもしれません。



母智丘の桜

日本さくらの名所100選の母智丘の桜は、ソメイヨシノ、ヤエザクラ、ヤマザクラなど約2700本で、母智丘神社までの約2Kmの桜トンネルは圧巻です。

横市ほ場整備幹線農道沿いの遊歩道は、田園空間整備事業で整備され桜が植樹されています。市道母智通線から母智丘までの桜は、圧巻で沢山のウォーキング客で賑わっています。

横市地区遺跡群

横市遺跡は平成8年度(1996)から県営担い手育成基盤整備事業で田んぼが区画整理されることになり、それに伴い発掘調査が実施されました。横市遺跡は生産基盤、とくに稲作文化の発生から水田経営まで連なる「米づくり」の歴史を知ることができる、南九州を代表する遺跡として高い評価を受けています。

国内最古級(縄文時代)の水田跡や平安時代の居室跡、鎌倉時代の大規模な館跡、縄文時代から近世までの水田跡などが発見されマスコミで大きく取り上げられました。

また鉄剣、鉄鎌、木鎌、石器、土器など縄文時代から近世までの生活用品や農耕具が沢山出土しています。その中でも「擦り切り孔を有する石包丁」は稲作文化の初期の遺物とされ、国内でも希少な遺物です。ここでは鶴亀、脇穴、今房、馬渡、江内谷、坂元、加治屋遺跡など24の遺跡を総称して横市遺跡と呼んでいます。



写真左上より/脇穴遺跡 鎌倉時代の水田畦 石包丁 牛の足跡



県営担い手育成基盤整備事業(ほ場整備)

写真左: 水はけが良くなりジャガイモも収穫できました。
写真右: 大型機械での農作業ができて、後継者も育ちませんでした。

15年前の横市は、小さい面積で形の悪い田んぼで、道路も狭いため、大型機械での農作業ができず、後継者も育ちませんでした。

平成5年に横市河川改修にあわせて、ほ場整備工事を実施することになりました。形の悪い田んぼを縦100m、横60mの大きな区画の田んぼに整形しました。また水路は管水路に改修し、いつでも安心して用水が使えるようにしました。排水路はコンクリートで整備され、道路は直線に配置し道幅も5.0m~7.0mと広くしました。

ほ場整備は平成19年度に完了しました。今、横市地区の皆さんは綺麗に整備された田んぼで、大型機械を使う効率的な農業をされています。また農村集落営農法人も設立され、未来に希望もてる農村となっています。

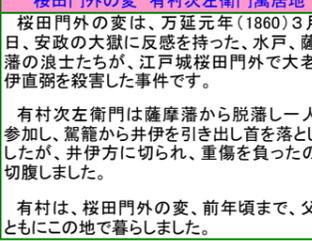
■田んぼの面積 160ha 事業費 約59億円



加治屋頭首工

加治屋頭首工は、正徳2年(1712)、島津家が200町歩の新田を開田し、寛政12年(1800)に柴井堰が築造されました。

大正14年(1925)年にコンクリート堰に生まれ変わりました。その後、平成5年(1995)8月の大水害で流出し、平成7年(1997)6月、災害復旧事業で現在の頭首工に復旧されました。

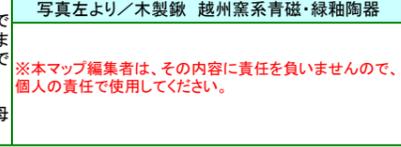


桜のぼ

桜のぼは、万延元年(1860)3月3日、安政の大獄に反感を持った、水戸、薩摩藩の浪士たちが、江戸城桜田門外で大老井伊直弼を殺害した事件です。

有村次左衛門は薩摩藩から脱藩し一人で参加し、駕籠から井伊を引き出し首を落としましたが、井伊方に切れ、重傷を負ったので切腹しました。

有村は、桜田門外の変、前年頃まで、父母ともにこの地で暮らしました。



写真左より/木製鎌 越州窯系青磁・緑釉陶器



美しい田園風景と 遺跡めぐり楽しそうだね

※本マップ編集者は、その内容に責任を負いませんので、個人の責任で使用してください。